

テーマ	全経対策（Ⅰ）：簿記の基本・仕入売上・建設仮勘定・株式発行・繰延資産				
学籍番号					氏 名

1. 次の取引について仕訳し、解答欄の各勘定に転記しなさい。なお、転記にあたっては日付、相手科目、金額を記入すること。また、5月31日までの取引については各勘定に合計額で示してある。

6月3日 仕入先花岡商店より商品 200,000 円を仕入れ、代金のうち 50,000 円は現金で支払い、残額は掛けとした。

5日 得意先八尾商店へ商品を 300,000 円で販売し、代金のうち半額は現金で受け取り、残額は掛けとした。

7日 花岡商店に対する買掛金のうち 100,000 円を現金で支払った。

10日 八尾商店に対する売掛金のうち 100,000 円を現金で回収した。

日付	借方	貸方
6/3	仕入 200,000	現金 50,000 買掛金 150,000
6/5	現金 150,000 売掛金 150,000	売上 300,000
6/7	買掛金 100,000	現金 100,000
6/10	現金 100,000	売掛金 100,000

現金		買掛金	
1,000,000	6/3 仕入 50,000	6/7 現金 100,000	500,000
6/5 売上 150,000	6/7 買掛金 100,000		6/3 仕入 150,000
6/10 売掛金 100,000			
売掛金			
700,000	6/10 現金 100,000		
6/5 売上 150,000			
仕入		売上	
6/3 諸口 200,000			6/5 諸口 300,000

テーマ	全経対策（Ⅰ）：簿記の基本・仕入売上・建設仮勘定・株式発行・繰延資産			
学籍番号			氏 名	

2. 次の取引について仕訳を示しなさい。

- (1) 当社は倉庫を新築することになり、八尾建設㈱と工事請負契約を結び、工事代金の一部 7,500,000 円を第 1 回分として小切手を振り出して支払った。なお、工事請負価額は 40,000,000 円である。
- (2) 上記倉庫が完成し引渡しを受け、すでに支払済みの第 1 回分と第 2 回分の代金合計 15,000,000 円を差し引き、残額を小切手を振り出して支払った。
- (3) 楽音寺建設㈱は、会社設立に際し、株式総額 10,000 株のうち 2,500 株を、1 株の払込金額 100,000 円で発行し、払込金額を当座預金とした。なお、資本金には払込金額のうち「会社法」で認められる最低額を組み入れることとした。
- (4) 楽音寺建設㈱は、新株式 2,000 株を 1 株の払込金額 120,000 円で発行し、払込金額は当座預金とした。なお、払込金額のうち「会社法」で認められる最低額を資本金に組み入れることとした。
- (5) 北本町産業㈱は、株式の発行その他会社設立のための費用 2,500,000 円を現金で支払った。
- (6) 北本町産業㈱は、第 1 期決算にあたり、創立費 2,500,000 円を繰延資産として計上し、定額法により償却を行うこととした。ただし、償却期間は会計法規が規定する最長期間とする。

日付	借方	貸方
(1)	建設仮勘定 7,500,000	当座預金 7,500,000
(2)	建物 40,000,000	建設仮勘定 15,000,000 当座預金 25,000,000
(3)	当座預金 250,000,000	資本金 125,000,000 資本準備金 125,000,000
(4)	当座預金 240,000,000	資本金 120,000,000 資本準備金 120,000,000
(5)	創立費 2,500,000	現金 2,500,000
(6)	創立費償却 500,000	創立費 500,000